

うおーみんぐ

NO.15 冬

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。

実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！

京都府地球温暖化防止
活動推進センター通信

STOP! GLOBAL WARMING
LET'S WARM UP OUR ACTION



京都環境フェス
ティバル 2007
を開催しました

きょうとエコ1グランプリ

エコ貯登録コーナー

自然エネルギー展示ブース

テーマゾーン

(写真)



コラム「ストップ温暖化! 見直そう、太陽熱利用」

- 太陽熱温水器の種類と、その効果
- シンポジウムの実施
- 『太陽熱温水器セミナー (仮称)』を開催します!
- 一問一答

「家庭の省エネ相談所」の取り組みが
広がっています!

活動レポート

STOP 温暖化! 省エネ家電普及 コンテスト発表会

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

特集

決戦！きょうとECO-1 （エコワン）グランプリ 選ばれし十五団体が競う！

12月8日（土）、稲盛ホール（京都市伏見区）にて、「きょうとECO-1 グランプリ」の決勝大会を開催しました！

京都府内の団体による温暖化対策のコンテスト「きょうとECO-1 グランプリ」。合計 39 件もの応募から、決勝進出 15 団体に選ばれたのが、以下の学校・企業・NPO です。

①花とみどりの地球大好きプロジェクト 京都市立蜂ヶ岡中学校



つる性植物の「緑のカーテン」やアジサイで、地域の緑化を推進。

②京町家再生プロジェクト 「京都まちなかこだわり住宅」

建都住宅販売（株）



京都府産材をふんだんに使い、京都の職人たちが京都のすまいをつくる。

③サイエンスライブショー 「地球温暖化から地球を守る宇宙船にっぽん号の戦い」

NPO 法人 サイエンス E ネット



京都の理科教師が集まって結成し、温暖化を学べるライブショーを実施。

④廃食用油回収・活用プロジェクト

NPO 法人 丹後の自然を守る会



天橋立の海をきれいにするため、廃食用油を回収し公用車などの燃料に活用。

⑤地元の木を使う —林業活性化による CO2 排出削減—

京都府立北桑田高等学校 森林リサーチ科



地元産の木材を使い、京大が開発した工法でモデルハウスを建築中。

⑥久世共同運行バス

久世共同運行バス協議会



マイカー通勤による渋滞解消をめざし、工業団地に共同運行バスを導入。

⑦エコニコライフ推進プロジェクト

八幡市環境市民ネット



「八幡市はマイバッグの街です」を目指して、レジ袋削減を進める。

⑧グリーンカーテン進化版 in 木津川市 木津川市こどもエコクラブサポーターの会



秋は腐葉土づくり、冬は生ごみ堆肥づくり、春は育苗と年間を通じ活動中。

⑨再生可能エネルギーによる丹波黒大豆の栽培

京都府立須知高等学校



土壌蒸気消毒に太陽熱温水器・雨水を活用し、食の安全と環境保全に挑む。

⑩生ごみリボン・プロジェクト

精華町環境ネットワーク会議



人口急増の精華町で家庭の生ごみを堆肥化し、ごみ減量をめざす

⑪地球（ほし）に生きる！ ～暑くなる環境に挑む～

京都府立桂高校 草花クラブ



屋上緑化で都市の猛暑を改善するため、超軽量の芝マットを開発。

⑫山城中学校のエコな挑戦～学ぶ力・教師力・学校力を育てるエネルギー環境教育

木津川市立山城中学校



学校全体で「持続可能な社会の実現に向けた環境教育」を実施。

⑬葵・みどりサークル

京都市立葵小学校・葵小学校 PTA



緑のカーテンづくりに PTA が参加し、毎週土曜日に親子で活動中。

⑭もえぎエコワールドプロジェクト

京都市立中京もえぎ幼稚園 PTA



PTA が「木の地産地消」をテーマに環境教育に挑戦中。

⑮剪定枝の有効利用による地域の木質バイオマスエネルギーの循環づくり

株式会社 Hibana



公園や街路樹を剪定する際に出た枝や幹を、薪に加工。

工夫が凝らされたプレゼンテーション！

決勝大会では、各団体から5分間のプレゼンテーションがあり、その後審査員と質疑応答を交わしました。さまざまなアイデアが凝らされた発表方法には、各審査員もビックリ！



▲オリジナルキャラクターの着ぐるみが登場！
(蜂ヶ岡中学校)



▲「M-1 グランプリ」も顔負けの漫才。
(北桑田高校)



▲楽器（ユーフォニウム）の生演奏も・・・
(須知高校)

◀ 大きな垂れ幕でメッセージをアピール！
(中京もえぎ幼稚園 PTA)

グランプリは北桑田高校の手に！

見事グランプリに輝いたのは「府立北桑田高等学校 森林リサーチ科」。地域や大学と連携して「木材の地産地消」を推進している点と、漫才あり映像あり模型ありの充実したプレゼンテーションが高評価を得ました。準グランプリには、高い研究レベルで画期的な屋上緑化システムを開発した「京都府立桂高校 草花クラブ」と、住民が主体となって府北部で廃食油回収を根づかせた「NPO 法人 丹後の自然を守る会」が選ばれました。

グランプリの北桑田高校は、来る2月9日～10日に東京で開催される「ストップ温暖化大作戦 全国大会」に京都府代表として出場します。全国大会ガンバレ！北桑田高校！！

* * * * *

この「きょうと ECO-1 グランプリ」は、来年も引き続き開催します。来年4月以降に公募を開始いたします。

府内で温暖化防止に取り組む団体の皆さまは、「よし、来年はうちもチャレンジしよう！」と、今から意気込みを膨らませていてくださいね！

※この事業は、環境省「ストップ温暖化大作戦～CO2削減『一村一品プロジェクト』～」として実施しました。http://www.jccca.org/daisakusen/



▲グランプリ・北桑田高校の表彰場面。
郡塙審査委員長（当センター理事長）から賞状が。



▲準グランプリ・桂高等学校 草花クラブ

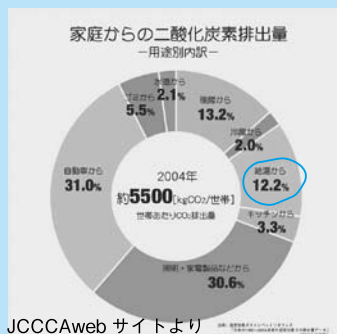


▲準グランプリ・丹後の自然を守る会

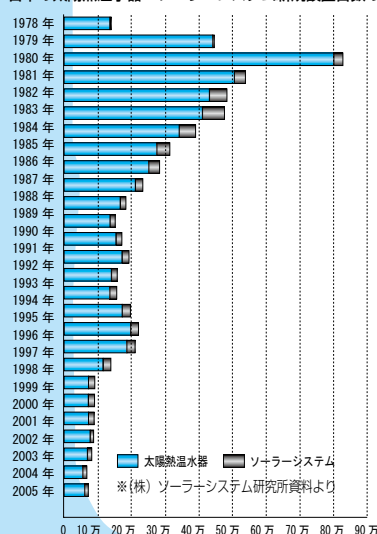
きょうと ECO-1 グランプリ審査員（敬称略）
郡塙 孝（同志社大学教授・当センター理事長）
浅井 利彦（社団法人京都工業会専務理事）
植村 章弘（京都商工会議所産業振興部次長）
栗田 澄子（京都府連合婦人会副会長）
田浦 健朗（NPO 法人気候ネットワーク事務局長）
宗田 好史（京都府立大学准教授）
奥谷 三穂（京都府地球温暖化対策プロジェクト副プロジェクト長）

「ストップ温暖化！見直そう、太陽熱利用」

コラム



日本の太陽熱温水器・ソーラーシステム新規設置台数の推移



家庭からの二酸化炭素排出量を用途別に分類すると、12.2%は給湯によって排出されています。これは、暖房による排出量にほぼ匹敵し、ゴミによる排出量の2倍以上に上ります。温暖化防止のためには、給湯部門での対策が欠かせません。でも、お風呂好きといわれる私たち日本人は、「お風呂をがまんする」という対策はなかなか実践しにくいもの。そこでぜひ注目したいのが、太陽熱温水器です。

で存知の通り、太陽熱温水器は、太陽の熱でお湯を沸かす機器。よく見かける「自然循環型」のほかにも、屋根の上に大量の水を乗せずにすむ「強制循環型」もあります。これらの温暖化防止

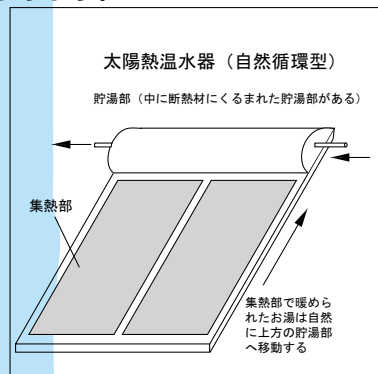
効果はとて大きく、金額あたりの二酸化炭素削減量は太陽光発電を上回ります（下記参照）。

ところが、左のグラフにあらわれているように、日本では設置台数がどんどん減少しています。ヨーロッパや中国では急速に増加しているといわれていますので、これは異例のことです。原因としては、オイルショック後に燃料費が安くなったことに加え、一部業者による販売方法に問題があったこと、情報が不足していることなどがあげられています。

現在、燃料代はどんどん上昇しています。なにより、温暖化の進行が止まりません。もう一度、太陽熱温水器を見直してみませんか？

太陽熱温水器（自然循環型）

もっともシンプルなタイプ。自然の対流によって温められた湯が上部の貯湯部にたまりま。



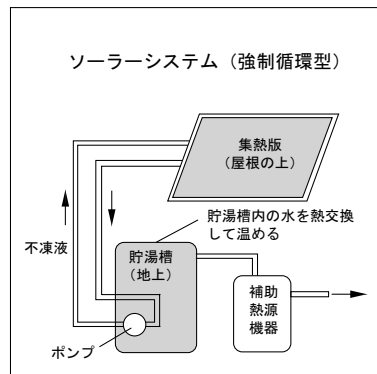
太陽熱温水器の光熱費・CO₂削減量/年

	都市ガス	LPガス	灯油
光熱費	25,000円	48,900円	19,200円
CO ₂	376kg-CO ₂	615kg-CO ₂	535kg-CO ₂

集熱面積：3㎡ タンク容量：200ℓ 価格：約30万円

ソーラーシステム

屋根の上には集熱板だけを乗せ、ポンプで不凍液等を循環させて地上の貯湯槽で熱交換しお湯をつくりま。



太陽熱温水器の光熱費・CO₂削減量/年

	都市ガス	LPガス	灯油
光熱費	49,950円	97,900円	38,400円
CO ₂	753kg-CO ₂	1,231kg-CO ₂	1,070kg-CO ₂

集熱面積：6㎡ タンク容量：400ℓ 価格：約90万円

太陽熱温水器の種類と、その効果

(株)ソーラーシステム研究所の資料をもとに、都市ガス130円/㎡、LPガス645円/㎡、灯油89円/ℓで計算

※大阪の日射量、集熱効率40%、給湯器の効率80%で計算。【参考】太陽光発電(3kW210万円)電気代削減額/年:66,000円 CO₂削減量/年:1,179kg-CO₂

Report 12.2 シンポジウムの実施

当センターでは、温暖化防止の観点からもう一度太陽熱利用を見直すことを目的に、環境省からの委託を受けて普及啓発事業を実施しています。その一環として、12月2日にシンポジウム「ストップ温暖化！見直そう、太陽熱利用」を開催しました。

このシンポジウムでは、太陽熱温水器の基礎情報の紹介、アンケート調査結果の報告、消費者問題の観点からの報告につづき、課題を整理するディスカッションを行いました。ここでは「最大の課題は情報が不足していること。疑問に答えてくれる第三者機関、例えば「エネルギー相談所」のようなものが必要ではないか」といった意見が出されました。



『太陽熱温水器セミナー（仮称）』を開催します！

日時：2008年2月16日 13:30～16:30

場所：池坊学園 第1会議室（京都市内 四条烏丸から徒歩5分）

- 太陽熱温水器で床暖房!? 既存の給湯器に接続できるの!?
メーカーの方をお招きし、太陽熱温水器の最新事情を教えてください。
- どうやって普及させる!?

太陽エネルギー利用の拡大を図る東京都環境局のご担当者をお招きし、普及策についてお話いただきます。

※詳しい情報は、今後、チラシやWebサイトでご案内します。

建築士の方、新築・改築を予定されている方、自然エネルギーに関心のある方、**必見**です!!

一問一答（シンポジウムの質疑応答より抜粋）

既存の（ガスや灯油を使う）給湯器と接続することはできますか？

接続のための機器をつけること等により接続できるタイプもありますが、機種によりますので事前に確認が必要です。

水質は大丈夫なのでしょうか。

水質にどの程度こだわるかによりますね。基本的には、飲用には適しませんが、お風呂に使用する分には問題ありません。

集合住宅に設置することはできるのでしょうか。

分譲マンションの場合、共用部分と占有部分が明確に分かれており、所有権の問題から、事前に合意がとれていないとなかなか難しいです。賃貸マンションでは設置例もあります。ベランダの手すり部分に集熱板を取り付けている事例もあります。

屋根の上に太陽熱温水器（自然循環型）2台をのせたら、ドアが開きづらくなったのですが、家への負荷が大きいのではないのでしょうか。

確かに300リットルの水は300kgの重さがありますが、新築であれば問題ありません。既存の家でも、多くの場合は、それほど大きな負荷にはならないでしょう。もちろん、家の状態によって判断する必要がありますが。

質問の家庭の場合、ドアが開かないというのは、家全体がひずんでいるとしか考えられません。古い家に太陽熱温水器を2台も設置すること自体が問題で、そのようなことを平気で勧める業者がいるということが非常に大きな問題です。

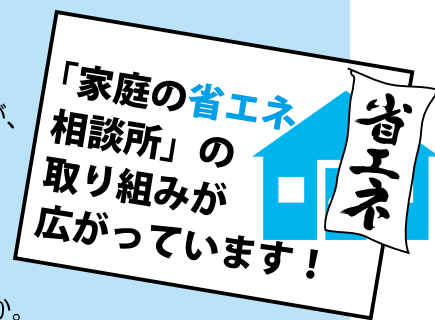
す っかり寒い季節になりましたね～。家庭では、冬は、暖房やお風呂に、夏よりも 10 倍以上エネルギーを使うので、CO₂ の排出も多くなりますが、

- ・自分の家の光熱費は他と比べて多いの？少ないの？
- ・暖房器具はどんなのが効果的なもの？
- ・お金がなくてもすぐに取り組みで効果もあるのはどんな取り組み？

といったことについて、関心のある方も皆さんの周りに多いのではないのでしょうか。

そ んな疑問にその場で答えてくれるのが、「家庭の省エネ相談所」です。経験を積んだ推進員さんなどのボランティアスタッフが、対面式で、「家庭の省エネチェックシート」を元に診断結果を紙に打ち出し、日常的な省エネの工夫や、電球型蛍光灯、断熱シート、節水シャワーヘッドなどの、お得な省エネ製品の使い方についても教えてくれます。

実際に「家庭の省エネ相談所」にスタッフとして関わった推進員さんの声を集めてみました↓



城陽市 園田美恵子さん
(城陽市環境フォーラムで実施)



この方法は、今必要とする家庭の省エネを市民の方々に拡げる強力なツールです。城陽環境PS会議でも6名程度のチームを編成し、必要なパネルやグッズを揃え、イベントで取り組み始めています。ポイントはチーム作りと研修です。最初は3人くらいでも、優れた内容から協力者が増え、経験とともに診断員の力量も高まります。市民の方々と省エネのことで楽しくコミュニケーションできるのが魅力。是非、あなたの地域でも実施を。

福知山市 松尾祥弘さん
(福知山市内のイベントで実施)



当地区推進員の共通した活動として、「省エネ診断でのアドバイス」ができるよう、センターから講師を招いて実務研修を行い、「大江町地区・福知山旧市内地区・三和町地区」それぞれのイベントで試みました。診断を受けられていた方々の大半は、それぞれのご家庭での無駄をあらためて反省されていたようで、啓発効果があったと考えられます。福知山地区はクルマの利用率が高くCO₂排出量の大半を占めるので、エコドライブなどの具体的なアドバイス項目をより充実させていく必要があると感じています。

京都市 天野光雄さん
(京エコロジーセンター、府環境フェスティバルなど各地で実施)



20項目の質問に答え、電気代やガス代を記入するとその場で省エネ診断書が出てきます。アドバイザーはお客様の話を聞きながら診断内容を解説し、そのご家庭に適した省エネの方法を提案します。提案内容は出来るだけ具体的な方が良いでしょう。中には驚くほど省エネ上手な人がいるので、アドバイザーの方がアイデアをもらって次の話題提供に生かしたり出来ます。これが省エネ診断の醍醐味の一つです。

ど うですか？皆さんも相談を受けてみたい、また自分が相談員になってみたい、と思われましたか？この1月、2月も、京都府内各地で、地域の推進員さん達と共同して「家庭の省エネ相談所」を実施予定です。あいにくこの原稿には日時場所が間に合わないのですが、随時チラシなどでお知らせしますので、お近くの会場に皆さんもぜひ足を運んでみてくださいね！

●京都環境フェスティバル 2007 を開催しました

今年度のテーマゾーンでは、温暖化の影響の最新情報コーナーにおいて、紅葉の遅れや毒キノコの北上などさまざまな新しい情報を発信し、また、クイズラリーでは、実はエネルギーをたくさん使用している行動や製品について知ってもらおうクイズを4問実施し、その後の省エネに結びつくような内容としました。

京都府センターのブースでは、自然エネルギー利用の普及をテーマに、太陽熱温水器模型やペレットストーブなどを展示し、エコテックから林氏をお招きして来場者への説明をしていただきました。

環境フェスティバル 2007 へは 27,000 名の方に足を運んでいただき、盛況に終えることが出来ました。

●京都の木の家見学会情報を発信中！

京都の木を使った住宅の見学会が、府内のあちこちで開催されています。それらの開催情報を当センターのブログ「活動絵日記」で公開しております（ウェブサイトのトップページからリンクを貼っています）ので、興味のある方はぜひ一度ブログを覗いてみてください。

●みどりのカーテンシンポジウム「みどりのカーテンを使った環境教育の事例大集合」を開催しました

11月29日（木）に、京都府内で実践されているみどりのカーテンを使った環境教育の事例報告会を行い、松尾さん（福知山市）、山本さん（京田辺市）入江さん（八幡市）、西澤さん（木津川市）より事例を報告していただきました。事例報告では、サーモグラフィや温度計を使って目に見える形でみどりのカーテンの効果を学習する事例や、紙芝居やペープサートを使った事例などさまざまな実践例を報告していただき、共有する事ができました。最後に、京都府立大学の松原先生から、涼しく過ごすための工夫についてご紹介いただき、今後みどりのカーテンの学習をする際のヒントをいただくことができました。

京都市上京区、京都御所の周囲に位置する京都御苑。

コラム



年間 600 万人もの利用者が訪れるこの観光地内に設置されているベンチ 235 基（御苑内に設置されているものの約半数）が、今年の 9～10 月にかけて、京都の木を使ったものに改修されました。使われたのは北山杉の丸太と京都府産のヒノキ。地元の木材を利用したことで、国内で消費される木材の平均と比較して、輸送にかかる CO₂ を、ガソリン 631 リットル分削減することができました。

「丸太表面の丸みを残した角の少ないデザインは、座り心地が良く、利用者から好評を得ているようです。耐久性に問題がなければ、CO₂ 削減や観光客へのア

ピールといった面からも地元京都の木材を使うことは積極的に考えていきたい。」とは今回話をお伺いした環境省京都御苑管理事務所の寺内主査。御苑管理事務所ではこのほかにも昨年夏に苑内のほぼ全ての街灯を省エネ型に変更するなど温暖化防止の取り組みを行っているそうです。

読者のみなさまも今後訪れる機会がありましたら「北山杉」の焼き印を目印に、地元京都の木を使ったベンチに座ってみてください。

STOP 温暖化！ 省エネ家電普及コンテスト 発表会

参加費
無料

省 エネも温暖化防止もできる！

省エネ家電のそんな広め方があったか！

家電の専門家「まちのでんきやさん」の省エネ・地球
温暖化防止の取り組みコンテストです

地 球温暖化防止の対策に欠かすことができない「家庭の省エネ」。

そんな「家庭での省エネ」の最前線に立つ「まちのでんきやさん」が取り組む、家電製品の省エネな
使い方の普及事例、省エネ家電普及事例を表彰し、事例発表を行います。

地球温暖化防止、家庭での省エネにご興味のある方、是非ご参加下さい

扇風機を2ヶ月で
400台販売！
エコキュートのメンテ
ナンス活動も！

家庭での電気代を
チェックして、
省エネ家電の買い
替えを提案！

エアコンや冷蔵庫
の省エネな使い方
満載のチラシを
配布！

手作り風力発電
小水力発電で、
自然エネルギー体験

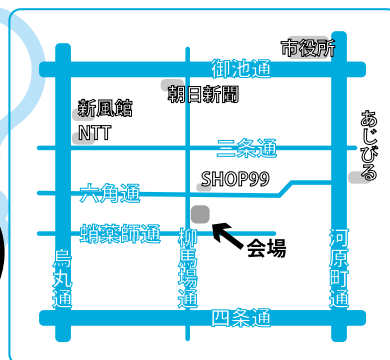
日時：2008年1月26日（土）13時～16時

場所：コープ・イン京都 大会議室（2階）
阪急電車「烏丸」駅（13番出口から）徒歩5分

問い合わせ
申込み先

京都府温暖化防止センターまで

E-mail: office@syoene-meister.org



編集後記

今年の冬は、昨年と違ってとても寒いですね。

自転車に乗るととても寒いので、徒歩で移動するようにしています。

うぉーみんぐ13号は今年最後のニュースレターとなりました。来年も楽しいニュースレターをお届けいたしますので、よろしくお願いいたします。

では、よいお年を〜。(吉川)

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

(平成19年冬号 平成19年12月発行(年4回発行))

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

理事長：郡嶋 孝 運営委員長：浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上六丁目283番4

TEL: 075-211-8895 FAX: 075-211-8896

URL: http://www.kcfca.or.jp E-mail: center@kcfca.or.jp

編集：伊東 真吾 木原 浩貴 竹花由紀子 永野 恵子 洲上 佑樹 吉川 春菜

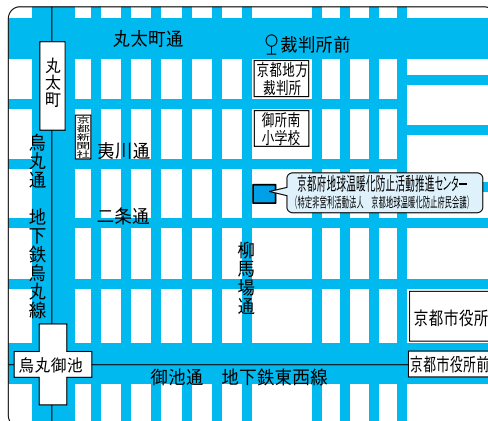
法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！

年会費 正会員(個人): 1,000円 正会員(団体): 2,000円

準会員(個人): 1,000円 準会員(団体): 2,000円

賛助会員: 10,000円

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙に、大豆インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

